



# 都市 +

# デザイン フォーラム

## ACTION for Public Space —今なすべきこと—

公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター (udc) では、「魅力ある創造的な都市・地域空間の再興を推進するための行動」を「ACTION for Public Space (APS)」と名付け、APS 推進会議を設置して調査研究および実践活動を進めています。

このフォーラムは、われわれ APS 推進会議と問題意識をともにする全国のみなさまに、「ACTION」を進めていくための一助としていただくことをねらいとしています。

### 移動からみる都市の公的空間

“public space is the city”  
(オリオル・ボイガス)

“ある都市を思うとき、最初に心に浮かぶものは街路である。街路が面白ければ都市も面白く、街路が退屈であれば都市も退屈である。”

(ジェイン・ジェイコブズ)

公的空間が都市の本質だとすると、単体ではなく、多様なスケールで、都市空間や都市システムに対して位置づけていくべきだろう。たとえば、都市のどこにあるどのような公的空間が、人々の生活に馴染んだ魅力的な空間となるのか。その公的空間の存在によってどのように都市が機能するようになるのか。そこで、本フォーラムでは、都市スケールと公的空間のスケールをつなぐために、移動に着目する。公的空間内・都市内の歩行はもちろんのこと、様々な交通、視線、ネットワークのノードとリンク、といった観点も盛り込めるだろう。こうした議論が、都市のタクティクスを戦略に接続させる手掛かりにもなることを期待したい。



柴田 久

・福岡大学工学部教授

cross



高松 誠治

・スペースシンタックス・  
ジャパン株式会社  
代表取締役

talk



伊藤 香織

・東京理科大学理工学部  
建築学科 教授  
・APS 推進会議

©YOSUKE SUZUKI

司会進行：伊藤香織 (前掲)

第 20 回

平成 30 年 6 月 7 日 (木) 18:00 ~ 20:00

会場：エコツェリア「3×3ラボ・フューチャー」  
(東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JX ビル 1 階)  
<http://ecozeria.jp/about/accessmap.html>

主催者・事務局

ACTION for Public Space 推進会議

(公財) 都市づくりパブリックデザインセンター

HP : <http://www.udc.or.jp/>

※フォーラム参加は無料です。

※下記 udcHP の講習会「都市+デザインフォーラム」  
の申込みフォームからお申込みください。

HP : <https://www.udc.or.jp/publics/index/103/>

※定員に達し次第申し込みを打ち切ります。

都市計画  
CPD

## >> 柴田 久 Hisashi SHIBATA

・福岡大学工学部教授

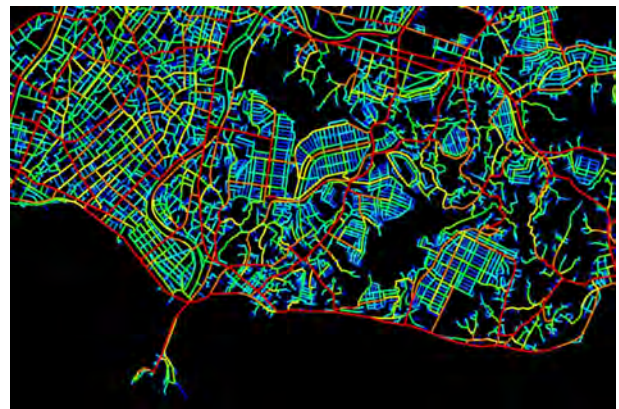
1970 年福岡県生まれ。2001 年東京工業大学大学院情報環境学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門は景観設計、公共空間のデザイン、まちづくり。カリフォルニア大学パークレイ校客員研究員等を務め、南米コロンビアの海外プロジェクトや九州を中心に四国、東北を含む約 50 の公共空間整備、地域活性化に向けた事業、計画、デザインの実践に従事。主な受賞に 2014 年度、2011 年度グッドデザイン賞、土木学会デザイン賞 2014 最優秀賞、2010 年度キッズデザイン賞、2016 年度国土交通省都市景観大賞優秀賞など。著書に『地方都市を公共空間から再生する：日常のにぎわいをうむデザインとマネジメント』（学芸出版社、2017 年）など。



## >> 高松 誠治 Seiji TAKAMATSU

・スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役

1972 年徳島県生まれ。1997 年東京大学大学院社会基盤工学専攻修士課程修了。2002 年ロンドン大学 UCL パートレット校先進建築学専攻 MSc 修了。「空間構成・配置」と「人の認知や行動」に着目した「分析的な都市／空間デザイン」を専門とする。2002 年よりロンドンに本拠を置く Space Syntax 社で、トラファルガー広場の再生やシティ地区の主要再開発プロジェクトなどを担当。2006 年に帰国後、スペースシンタックス・ジャパン株式会社を設立。多数の大規模商業施設のレイアウトデザイン検討や、地方自治体や国交省などからの実務／研究プロジェクトに係わる。2015 年より東京大学まちづくり大学院非常勤講師。共訳書『パブリックライフ学入門』（鹿島出版会、2016）。



## >> 伊藤 香織 Kaori ITO

・東京理科大学理工学部建築学科 教授  
・APS 推進会議

東京生まれ。東京大学大学院修了、博士（工学）。東京大学空間情報科学研究センター助手などを経て、現職。専門は、都市空間の解析及びデザイン。特に公共空間と都市生活の関わり方に着目する。主著に『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』『シビックプライド 2【国内編】：都市と市民のかかわりをデザインする』（宣伝会議）『まち建築：まちを生かす 36 のモノづくりコトづくり』（彰国社）など。東京ピクニッククラブを共同主宰し、公共空間の創造的利活用促進のプロジェクトを国内外の都市で実施、グッドデザイン賞受賞（2014 年）。



### 【udc】（公財）都市づくりパブリックデザインセンター：

平成元年に都市における公共空間のデザインに関する総合的な調査研究及び技術開発等を行う財団法人都市づくりパブリックデザインセンター（urban design center,japan（略称 udc））として設立。平成 26 年度からは公益財団法人に移行し、調査研究事業の一環として APS を設置。

<http://www.udc.or.jp/>